

私のまち 多摩市の ECOな取り組み



私の まちの ECO 新聞

2017年 1月
多摩第一小学校
5年1組
坪出田 菜月

すじい!

多摩清掃工場の サーマルリサイクル

サーマルリサイクルとは?
ごみを燃やした時に出る熱を回収、利用することです。

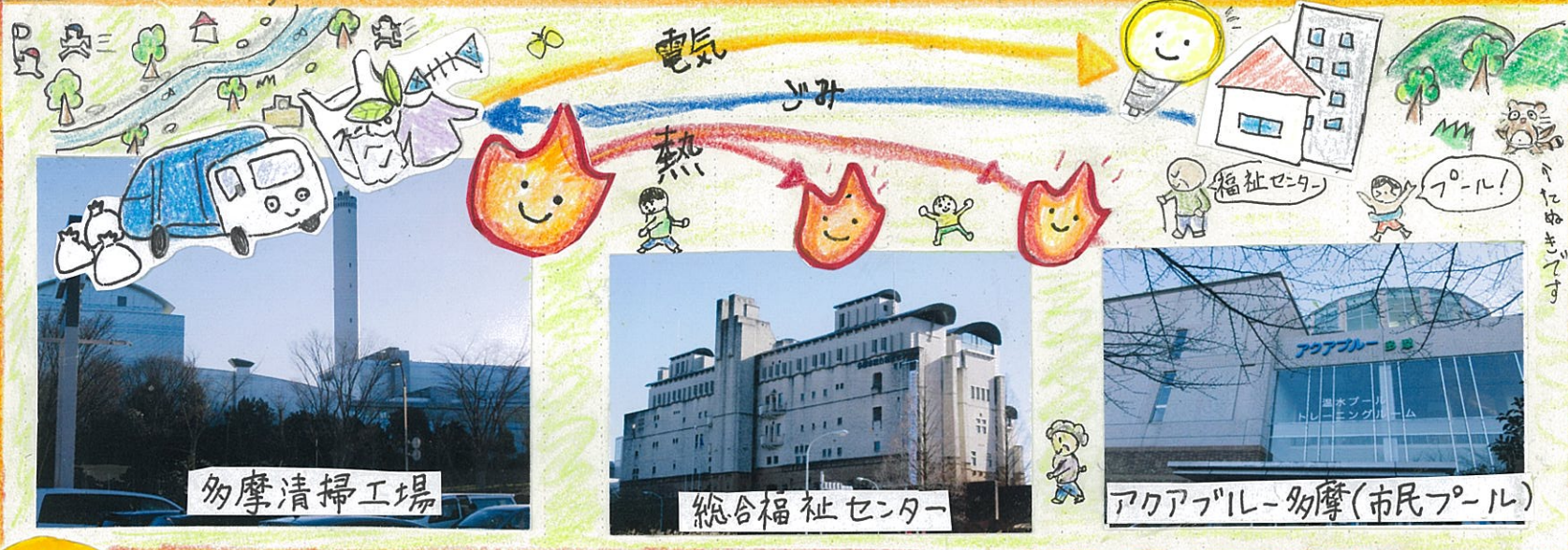
多摩市には多摩清掃工場があり、多摩市入王子市、町田市のごみを処分しています。

この工場では、ごみを燃やしたときに出る熱の蒸気で電気をつくっています。

また、工場のとりの総合福祉センターとアкваブル(市民プール)に高温水を送り、冷暖房やプールをあたためるために使われています。

私が住んでいる多摩市は、多摩川が流れ緑が多く、きれいな住みやすいまちです。

そんな多摩市がどんな工場を取り組んでいるのか調べてみました。



多摩清掃工場

総合福祉センター

アкваブル-多摩(市民プール)

こんなこと!

工夫がいっぱい 多摩市のエコ!

ダンボールコンポスト
ダンボールコンポストとは、ダンボールの中に生ごみを入れ、微生物の力で堆肥にリサイクルするものです。

生ごみの減量のために、多摩市ではダンボールコンポストに「おぼろちゃん」と名前をつけて、普及キャンペーンをしています。



リユース食器
多摩市ではイベントやお祭りから出されるごみを減らすため、リユース食器を無料で貸し出ししています。使い捨ての容器や割りばしの代わりに洗ってくり返し使えるリユース食器にするだけ、大量のごみを減らせます。

地球にもお財布にもやさしい。



新聞を書いて 思ったこと

今回の新聞作りで、清掃工場のサーマルリサイクル、エコにリサイクルの取り組みなど、多摩市のいろいろなエコな活動がよくわかりました。

また「くるくるカレンダー」や「Rie食器」など私にも参加できることがあることがわかりました。

なのでこれから、私も少しずつそのような地域のエコな活動に参加していきたいと思います。

活用しています!



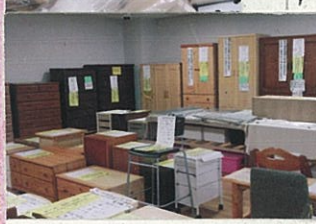
エコにセンターでの取り組み!

エコにセンターは清掃工場のとりにあります。エコな暮らし方を学んだり、情報を得ることが出来ます。

粗大ごみの販売

粗大ごみの中で使える家具はきれいにして販売しています。また、使えない家具は分解して部品や板を材料として販売しています。

木端 30円
木端 130円



食器のリサイクル

使い終わった食器を回収してリサイクル。その食器は岐阜県の粉砕工場で砂状にし、新しく食器をつくる時の原料として使用されています。

つった食器は Rie食器として販売されています。



くるくるカレンダー

毎年、一月にはその年のいかなったカレンダーを必要とする人に配布しています。

自分では使わないけれど、ごみの合間に使うと色々なカレンダーが集まっています。



講座やイベント

いろいろななくなった布や木材を利用した工作教室やリサイクルした「Rie陶土」で陶芸体験の教室など、さまざまな講座があります。また、季節ごとにイベントも行い、地域のみなさんにエコな情報を伝えています。

毎年、一月にはその年のいかなったカレンダーを必要とする人に配布しています。

